

学校行事参加型＋体験活動参加型＋在宅取組型(小学校)

学校名等	関ヶ原町立関ヶ原小学校
実施日時	平成30年7月7日(土)・在宅取組 夏休み
会場	小学校 普通教室、特別教室・各家庭
参加人数	416人(児童234名、保護者182人)
学習課題(分野)	「親子で時計づくり～子どもと未来をつなぐ時計～」 「親子で過ごす時間」(親子のコミュニケーション)
運営者の願い	親子と一緒に過ごす時間は、睡眠や勤務時間を除くと、生涯を通して9年だそう。親と子が一緒に過ごせる時間のありがたさを感じるとともに、この先後悔することのないように、親子で過ごす時間について考えるきっかけとなしてほしい。

学習の内容

<実施の流れ>

関ヶ原小家庭教育学級テーマ「未来へつなごう！親子で楽しく学びあい～愛～」

- ・4/27…PTA総会後の家庭教育学級開級式で今年度のテーマを説明。
- ・7/7…地区懇談会に併せ、「親子ふれあい活動」を実施。
- ・夏休み…在宅取組「親子で過ごす時間」を実施。
- ・7/24, 31, 8/7…「親子で料理教室」(親子36組)を実施。

<親子ふれあい活動：「親子で時計づくり～子どもと未来をつなぐ時計～」>

- ①事前にプリントを配付。「ある1日の生活」を時計に書き込み、どのくらい、一緒に時間を過ごしているか記載してもらう。
- ②当日、地区懇談会后、親子で時計作りを行う。
時計ムーブメントとフォトフレーム、電池はPTAで準備。デコレーション材料や目打ちなどの道具は各家庭から持参。
- ③家庭教育学級通信で、活動の目的、活動の様子(写真)、参加者の感想を紹介する。



<参加者の感想>

- ・デザインを考える時間が楽しかった。日頃時間があっても子どもと向き合わない時があり、限られた子育ての期間、子どもと出来るだけ時間を共にするように意識していこうと思った。
- ・「世界に一つだけの時計」を、親子で楽しく作れたので良かった。
- ・家族でふれあいながら仲良く作り、地域の他の方もふれあうことができて、とても良い機会になった。



<在宅取組：「親子で過ごす時間」>

- ①夏休み前に、チャレンジカードを配付。取組の目的と内容を説明。夏休みだからこそ過ごすことができる「親子の時間」を、この夏の思い出として残してみようと呼びかける。
- ②各家庭で取り組んだことを、カードに記録。学校へ提出。夏休み作品展と同時期に校内に掲示する。



<取組後の感想>

- ・いつかは家族で挑戦してみたかった伊吹山登山を無事達成できて最高の体験になった。(親)
- ・お母さんと一緒にウォーキングができてとても楽しかった。今度はテニスにもチャレンジしてみたい。(子) 子どもと久しぶりに短い距離だがウォーキングをした。いつもはなかなかこのような時間が作れないため、良い時間を過ごせた。(親)
- ・夏休みは一人であることが多かったけれど、やっぱり家族といると安心した。家族と過ごす時間を大切にしたい。(子)

<年間を通した取組>

家庭教育学級テーマ「未来へつなごう！親子で楽しく学びあい～愛～」

↓
「親子で過ごす時間について考えるきっかけ」として家庭教育学級を位置付け

↓
5回の家庭教育学級全てに「親子で活動」「親子で話し合い」を盛り込む。

第1回…親子で時計作り

第2回…親子で料理教室

在宅…親子で過ごす時間

第3回…親子AED講習

(保護者が第一発見者、児童が大人を呼び、AEDを運搬、操作する一連の動きを体験する。)

第4回…親子音楽鑑賞会

(親子で座り、吹奏楽を聴き、感想を交流する。)

第5回…子育て講演会

(おこづかいを通して親子でお金の使い方を話し合い、金銭感覚を養うことの大切さを学習)

テーマに沿って「親子で過ごす時間の作り方」を考える活動が積み重ねられている。

<学校行事参加型＋体験活動型＋在宅取組で参加率UP!>

- ・地区懇談会と親子ふれあい活動の組合せにより、保護者の参加が100%近く得られた。また、地域の保護者同士で協力し会話が弾み、サロン型の効果も得られた。
- ・活動後にすぐ夏休みがあり、親子料理教室の定員も埋まり、チャレンジカード提出は100%近くになった。

<アイデアで楽しく>

- ・「時計作り」で用いた材料(時計ムーブメントとフォトフレーム)は100円ショップで調達。安価だが、親子で素敵な作品を作ることができた。

